

2009年7月17日

大学図書館に寄せられた要望について  
－「2008年度利用実態調査」をふまえて－

大学図書館長 曾我祐典

大学図書館は、利用状況を把握するために4年ごとに実態調査を行うことにしています。その2回目を、2008年10月に約3,700人の学部生・大学院生に対して質問票に回答を求める方式で行いました。調査結果は大学図書館のホームページをご覧ください。

ここでは、質問票の自由記述欄に寄せられた要望の中でとくに重要と思われる4つに対するお答えを記すことにします。

1. 図書・資料

要望 話題になっている小説やマンガを置いてほしい。

回答 2009年度には「先生のおすすめの本」につづいて「新聞書評で取り上げられた本」のコーナーを設けますから、この要望は部分的には実現することになります。それ以外にも、教育・研究活動のための図書・資料を収集するという大学図書館の原則に抵触しない範囲で要望に応じる方策を探っていきたいと考えています。

2. 施設・設備

要望 パソコンが足りない。台数を増やしてほしい。

回答 たしかにパソコンが空いていないことがよくありますが、図書館資料の利用とは無関係にパソコン使用だけのために来館する学部生が増えていることが一因のようです。それでも、大学図書館がもっと広げればパソコン増設もありうるでしょうが、もはや設置スペースの余裕がないためとうてい不可能です。大学図書館としては、これまでパソコンのリプレースのたびに設置可能な場所には増設を行い、2004年にはグループ閲覧室1室をパソコン室に改修するなどしてきました。2008年秋からは、無線LANにより持ち込みパソコンでもネットワークに接続できるようにしました。今後はカウンターに貸出用ノートパソコンを用意するという事も考えられますが、パソコンの不足はキャンパスで（夜間を含めて）パソコンの使える環境をどのように整えていくかという問題ですから、大学全体で考えるように働きかけていきたいと思えます。

要望 飲食のできる場所、友だちと話のできるスペースがほしい。

回答 大学図書館内で飲食を行うことは、図書・資料や施設・設備の汚損の問題があり、良好な利用環境を維持するためにも認められません。また、静かであることは大学図書館の必須条件ですから、友人と話がしたいときは「休憩室」や「グループ閲覧室」を利用するようにしてください。大学図書館は建物の特性もあって、飲食のできる場所や話のできるスペースを新設する余地のないことをご理解ください。

### 3. 開館日・開館時間

要望 長期休暇中の開館日を増やしてほしい。また、開館時間を長くしてほしい。

回答 貸出延長の手続きのように来館しなくても自宅のパソコンから利用できるサービスをこれからも充実させていきますが、やはり開館日・開館時間を増やすことが多くの利用者にとって望ましいのは明らかです。それにはいうまでもなく人員と予算の裏付けが必要ですから、大学図書館としては実現に向けて関係部局への働きかけの努力をつづけていきたいと考えています。

### 4. 利用者のマナー

要望 友人としゃべる、パソコンや閲覧席の席取りをする、本に書き込みをする、などマナーの悪い利用者をなんとかしてほしい。

回答 掲示などによる注意喚起だけでなく、職員による館内巡回の強化をはかるようにします。それ以外に有効な方策があるかどうか探る努力もつづけていきます。

以上